

一般質問



山岡 議員

質問

- 一、鷹島肥前大橋(仮称)架橋に伴う鷹島地域の振興策について
二、松浦(牛)としての肉用牛の地域ブランド化について

答 弁

一、(1)肥前町の「島の駅」については、造成工事がある程度できているが、鷹島町の着工、完成時期は。併せて、周辺の公園整備、進入道路の着工、完成時期についてお尋ねしたい。(2)特産品の加工場に何名かの方が申し込みされていると思いますが、建設されて稼働後の申し込みについての対応は。(3)県議会の折に、知事が鷹島の橋も含めて料金の値下げ等も検討したいとの答弁をされたと思いますが、情報があればお示しいただきたい。(4)現在、市の交通事業は鷹島島内だけの事業であるが、完成後は唐津との交通の連携、あるいは伊万里・松浦地区との連携に変わっていきます。特に、唐津駅からの直行便、観光を兼ねたバスの営業、運行について、陸運局等との交渉努力をすべきではないか。

一、(1)7月中旬に工事着工を予定しており、完成は来年2月末を見込んでいる。また、公園整備の完成時期も来年2月末を予定しているが、進入道路については県と協議中である。(2)現在申し込みがあっている方々の要望に対して、設計等を進めているところであり、今後の追加申し込みについての対応は、大変厳しいと考えている。(3)県議会において、その旨の知事答弁があったことについて県から正式な連絡があり、新年度に入って協議することとしている。(4)唐津市肥前町まで運行している昭和バスとの協議経過を見ながら、地域住民の要望に応えられる形で対応を考えていきたい。

二、基本方針に沿って、まずは繁殖雌牛の千頭増頭を達成させることに全力を注いでいきたい。その波及効果として「松浦生まれ、松浦育ち」の「松浦牛」が市内で消費、販売できるよう、また、全国に向けてPRしていけるようなブランドづくりを将来に向かって目指していきたい。

一般質問



吉原 議員

質問

- 一、寄付条例制定について
二、学校給食について

答 弁

一、財政状況が厳しい今こそ、行政マンと市民が一体となり、知恵と汗を流し、市民協働のまちづくりに取り組まなければならない。積極的なユニークな政策による市民生産向上のため、寄付条例を制定し、市内外にPRすべきと考えるがどうか。

二、(1)今回問題となった中国産輸入食材は使用していなかったか。(2)松浦の自然が育てた農水産物は生産者の顔が見える食材である。地産地消の取り組みの現状と課題及び今後の取り組み方針は。(3)松浦には冷めてもいい「ひのひかり」という品種があり、是非使用していただきたいか。(4)食材費のコストアップや給食費未納者の増大分をどうしているか。(5)未納者分を納入者分だけではカバーできないと考えるが滞納額はどの程度か。また、不足分はどこから捻出しているか。(6)給食費をきちんと納入していただくように、最大限の努力をすべきと考えるが。

他に、白浜5地区振興資金による温泉開発、不登校児童の対応、浦中央線大浜側三叉路について質問しました。

一、平成20年度税制改正(案)において、個人住民税における寄付金税制の抜本的な拡充として、地方公共団体に対する寄付金税制の見直しが行われている。これは、「ふるさと」に対し、貢献又は応援をしたいという納税者の思いを実現する観点からの見直しである。本市においても、積極的に寄付をしたいと思っていただけるような受け皿の整備を進める必要があることから、平成20年度中に寄付条例の制定について提案できるよう、庁内で検討を進めていきたい。

二、(1)長崎県学校給食会に確認したところ、中国産の食材は使用していない旨の回答を得ている。(2)野菜、米については、可能なものは地元から購入している。今後は、水産物を含めて、さらに推進していきたい。(3)価格等の問題もあり、引き続き検討させていただきたい。(4)4月から給食費の値上げをする方向で作業を進めている。(5)トータルで千250万円強の滞納がある。不足分は、過去の繰越金等でカバーしている。(6)県から示される対応マニュアルの活用と併せて、保護者への啓発に努めたい。